



平成29年4月 古川東町カトリック保育園

「ご入園・ご進級おめでとうございます」

フランターのチューリップが芽を出したり、クロッカスの花が咲き、ヒオラも生き生きとし、暖かい春を迎えようとしています。年度末に継続の子ども達は進級する部屋で4月を迎える準備をしていました。4月からは新しいクラス担任になります。そして入園する子ども達は新しい環境で過ごすことになります。それぞれにハラハラドキドキの新年度の始まりです。保護者の皆様も子ども達と同じ気持ちなのではないでしょうか。

子ども達が慣れるには、保護者の皆様と職員が信頼関係を築き、その様子を見ることで子ども達も安心して心を許してくれるのではないかと思います。私たち職員も、安心して楽しく生活出来る保育園になるよう努めてまいります。

カトリック保育園では4つの心「あいさつ、ありがとう、あたえあう、あやまりあう」を子ども達・保護者・職員が共に育んでいけるよう一年間の目標を掲げています。社会生活を円滑に送るための大切な心の育成だと考えています。我々の園歌「4つのこころ」はひとつひとつの心を歌ったものです。平成19年度の卒園児10名が詞を作り、担任だった保育士が作曲し編曲はピアノ講師をしている卒園児の保護者の方にお願いをし、平成22年度に完成したものです。5番まである曲ですが、子ども達と一緒に歌っていただきたいと思います。この保育園で、人として大切な「4つのこころ」を育んでいきましょう。

< 園長 平野綾子 >



行事予定

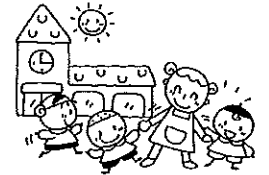
- 1日(土) 第48回入園式
 - 3日(月)~新入園児家庭訪問
 - 6日(木) 静修の日(3歳以上児)
 - 11日(火) 歯科検診
 - 12日(水) 内科健診
 - 21日(金) 誕生会
- ※避難訓練



今月のうた

聖歌 ♪マリアさま♪

- 1 マリアさま おててあわせて いつのひもわたしのために いのちくださる おきるからやすむときまで ちちははの みこころにぞい よいこであれと
- 2 マリアさま おててあわせて いつのひもわたしのために いのちくださる めがさめてイエスマリア ヨゼフさま まもりたまえと いのちよおにと

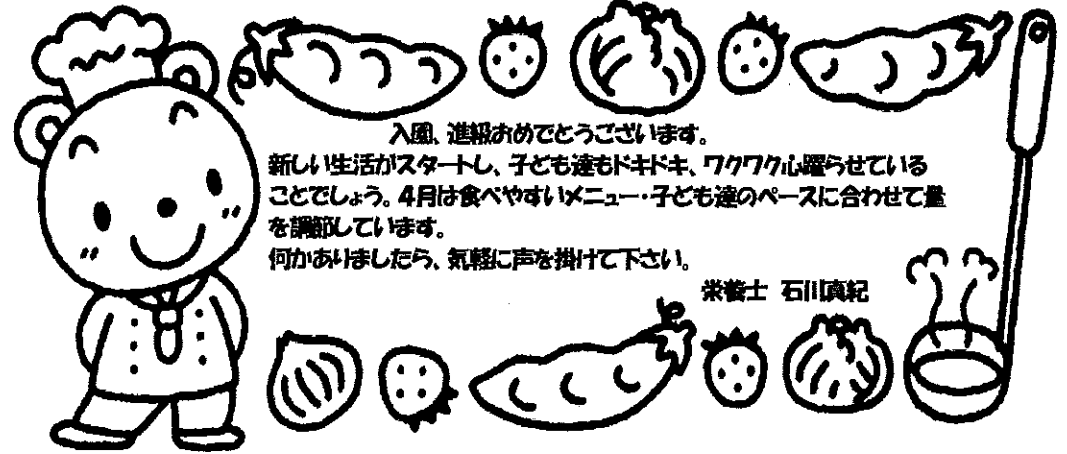


うた ♪ぶんぶんぶん♪

- 1 ぶんぶんぶん はちかどぶ おい汁のまわりこのぼらがさいたよ ぶんぶんぶん はちかどぶ
- 2 ぶんぶんぶん はちかどぶ あさつゆきらきらのぼらがゆれるよ ぶんぶんぶん はちかどぶ



きゅうしょくしつ



入園、進級おめでとうございます。

新しい生活がスタートし、子ども達もドキドキ、ワクワク心躍らせていることでしょう。4月は食べやすいメニュー・子ども達のペースに合わせて量を調節しています。

何かありましたら、気軽に声を掛けて下さい。

栄養士 石川真紀

おねがい



※歯科検診(11日)・内科健診(12日)はなるべく欠席せず受けていただけるよう、ご協力下さい。欠席の場合は後日、お家の方に病院に直接行っていただくようになります。

※今年度より中鉢瑞穂保育士が仲間入りしました。宜しくお願い致します。 子どもが楽しく過ごせるように頑張ります。 中鉢瑞穂



クラスだより



○ぼんび組(0歳児)

- <ねらい> ・家庭的雰囲気の中で、家庭での生活リズムが引き継かれ、安心して過ごす。
・暖かな気候の中、外気に触れる心地良さを知る。
- <家庭連携> ・少しずつ園での生活に慣れていけるよう園や家庭での様子を連絡し合い、生活リズムを整えていきましょう。
・天気の良い日や暖かい日は戸外で遊んだり散歩をし、外気に触れる心地良さを知らせていきましょう。

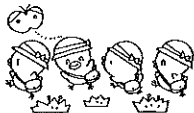
○ひよこ組(1歳児)

- <ねらい> ・新しい環境に慣れ、安心して過ごす。
・春の自然に触れ、のびのび遊ぶ。
- <家庭連携> ・環境が変わり不安定になることもあるので、スキンシップをたくさん取るようにしましょう。
・暖かい日には戸外遊びや散歩に誘い、身近な草花や虫など春の自然に触れられるよう声を掛けていきましょう。



○こたけ組(2歳児)

- <ねらい> ・新しい環境に慣れ、安心して生活する。
・春の自然に触れ、のびのび遊ぶ。
- <家庭連携> ・新しい環境の中で不安や緊張から体調を崩しやすいので、休日は十分な休息を心掛けましょう。
・暖かな気候の中で花や虫など春の自然に触れ、お子さんの気持ちに寄り添いゆつたいに関わりましょう。



○こねこ組(3歳児)

- <ねらい> ・家庭的な環境の中で進級した喜びと期待を持ち、生活する。
・新しい環境や生活の仕方に慣れ、安心して過ごす。
- <家庭連携> ・進級した喜びに共感するとともに、不安な気持ちを受け止め安心して過ごせるよう関わっていきましょう。
・午前のおやつがなくなります、活動する時間も多くなります。朝食をしっかり摂るようにしましょう。

○うさぎ組(4歳児)

- <ねらい> ・進級した喜びと自覚を持ち、家庭的な雰囲気の中で生活する。
・自分の好きな遊びを見つけ友達や保育士と十分に楽しむ。
- <家庭連携> ・子ども達の姿を伝え合い安心感を持てるようにしていきましょう。
・子ども達の好きな遊びを一緒に楽しんだり、たくさん関わりスキンシップを大切にしましょう。



○ひつじ組(5歳児)

- <ねらい> ・家庭的な雰囲気の中で友だちと進級した喜びを分かち合う。
・春の自然や身近な草花、虫などに興味や関心を持つ。
- <家庭連携> ・年長組になった嬉しさを十分に受け止め、身の回りのことを自分で行うように声を掛け励ましていきましょう。
・暖かい日は外に出て、春の自然に触れたり、動植物の名前を一緒に調べてみましょう。



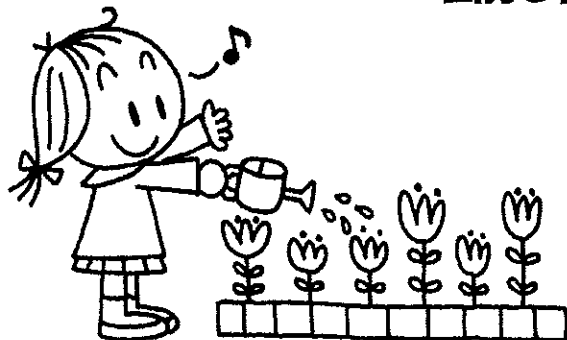
「新年度が始まりました！」

新しいお友達は何という名前かなあ…。男の子が多いのかなあ…。女の子が多いのかなあ…。早く会いたいなあ…。と在園児達は新たな出会いを心待ちにしていました。「今年は僕(私)達が一番大きいひつじ組(年長)だよ！ドキドキするー」「うさぎ組(年中)になったら、こねこ組(年少)の面倒は任せて！」「憧れの2階での生活、お兄ちゃん、お姉ちゃんの仲間入りだよ！」等と期待に胸を弾ませながら0・1歳児も含め、全員進級クラスでの生活が始まりました。担任も保育室も変わりましたが、ドキドキしながらも「ひとつ大きくなったんだぞ」と、とても誇らしげな子ども達です。

そして、新しくカトリック保育園の家族になった皆さん、我園へようこそ。小さい先輩たちをはじめ、保育士があたたかい心で子育てのお手伝いをさせていただきたいと思います。みなさんの傍には私たち保育士がいます。子育てで迷った時、悩んだ時等遠慮せず声を掛けて下さい。ネット上の過大情報よりも各々のお子さんの様子に見合ったアドバイスを提供出来ると思います。今年度も、泣き・笑い・驚き・感動を沢山共有出来ること、幸せに感じております。手と手を取り合い子ども達の成長を見守っていきましょう。

主任保育士 山田 紅美子

全ての持ち物に‘ひらがな’で 名前を書いて下さい！





あなたの一分間拝借！

2017年4月1日

御入園 御進級を心からお祝い申し上げます！

【家庭は豊かな人間形成の学校の一種である】と第二ヴァチカン公会議の現代世界憲章第52条に記されています。女性の正当な社会的進出により家庭内における尊厳と使命に対する配慮が怠りがちになり、乳幼児の心育、情操教育、人間形成の基本が崩壊されている現実を直視する時、保育所のなすべき使命は重且つ大であることを見直し、乳幼児にとって保育所があたたかい家庭の延長線上にあるよう特意すべき責務が求められていることに目覚め、心して各自の任務をしっかりと果たしてくれるよう祈念してやまないとこです。従って当保育園では、人間形成の基本的生活習慣としての次の4つの心即ちあいさつ、ありがとう、あやまりあう、あたえあう4つの心の実践に力を尽くし合いながら、日々好日の恵みで満たされるよう努力していただきたいと思います。

この4つの心の実行が家庭でも、保育園でも心を入れて行われれば、そこには必ず『和』が生じます。夫婦仲良く、親子仲良く、兄弟仲良くの『和』が身内から地域へ、更に『世界』へ広がる『輪』になって、それが親から子へ、子から孫へとつながる命の『環』に深化して、人間社会におけるまことの安全保障の場が創造されることと信じます。これこそ乳幼児たちの安全な安らぎの場以外の何ものでもありません。まさに育児にかかわるすべての人々の道義的目経済的責任が伴うお仕事であることに心耳を傾け、今まで以上に保育そして教育に対して目配り、気配り、心配りをされるよう精進してほしいものですね。まさに4つのこころは家庭的人間味のある温かい世界を現し合える力を備えていると思います。

4月のテーマ、それは4つのこころで暖かい家庭的保育を目指し

乳幼児と共に人間性教育に力をつくしましょう！

児童憲章には、児童の保育のために3つのテーマを提示しています。その一つは児童の人格権を認めること、二つ目は社会性を高めること、そして三つ目は良い環境をつくる事が示されています。特にそれらのうちの三番目が保育を左右することに気が付く人は何人いるか問題ではと思う御仁の一人です。世は環境といえは設備、建物、備品等のみを重視する傾向甚だしく、保育にかかわる人的環境即人材には、あまり重きを置かない事に心の目を向け考え直してほしいと思います。かかる意味合いから四番目に宗教性そして五番目に倫理性をあげてしかるべきことではないでしょうかと思う次第です。4つの心の実践は、まさに人が人として互いに尊重し合うように子ども達を育成するために基本的に必要なテーマであると信じます。また宗教が冠婚葬祭やお祭りごと等に捉えられている世情や生活上から倫理性が締め出され、物質文明の豊かさ、機器文明の乱用による家庭のみならず政・官・財の秩序の乱れはいかかなものかと案じている一人です。すべてはあるべきものの目的を無視した結果ではないかと思ひます。それは何のために存在するかを考え、目的に沿って使用することです。故ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世が来日され旧後樂園（東京ドーム）で全国から集まったキリスト者たちに日本語で次のように説教されたことを思い出します。



人は、優先順位を間違っははいけません。21世紀は、物より心を、物質文明より精神文明を、精神文明より愛の文明を優先しなければなりません。

(ここで愛とは、人格的に大切にしようという意味で使われています)

子ども達が、天地の創造者であり、全人類の父である神の御心に叶う大人に成長していくように、保育者自ら家庭的温かさを持って4つのこころの保育に専念いたしましょう。家庭が保育のプリマ・スコラであることを忘れずに！

4つの心が和から輪に広がり、環となって永久に繰り返される！
そこには和を嘉（よみ）したもう神まします。

One for all , all for one の精神を目配り、気配り、心配りに活かしながら

4月の目標達成に努力いたしましょう。

カトリック古川教会
司祭 川井 啓

